

第7回議会報告会での発表内容等（課題別）

（ 北区・東区・中央区・秋葉区・西区：大学生との意見交換
江南区・南区・西蒲区：区自治協議会委員との意見交換 ）

テーマ：「新潟市のまちづくりについて」

課題：①少子化対策，②人口流出，③今後の医療と介護のあり方，④中心市街地の活性化，⑤地域産業の振興，⑥雇用，⑦公共交通のあり方

①少子化対策

（北区）

<現状と対策>

- ・進学先・就職先が少ない。
- ・情報が不足。
- ・市内の移動手段が少ない。
- ・賃金が低い。
- ・雇用の受け入れ先が少ない。
- ・若い人は「都会に行きたい」という気持ちがある。
- ・企業側は即戦力を求めているが、若い人はまだ未熟。
- ・大学周辺に何もない。
- ・女性が働くようになって結婚意識が低下しているのではないか。
- ・北区はイベントが活発。
- ・少子化の原因に、「出会うチャンス少ない」ことがあげられる。

<提案>

- ・地域の魅力づくりが必要。
- ・新潟に定着すると返済を猶予・減免する奨学金や移住を促進誘導する補助金や支援など。
- ・今新潟市にある魅力をもっとPRすべき。
- ・学校づくり、芸術・音楽などの専門学校が必要。学べる分野を広げてほしい。
- ・出産・育児の支援に力を入れて。
- ・出産の支援、子どもを職場に預けられる制度。
- ・男性の育休がとりやすいような企業の制度。
- ・(上記「現状」の「企業が即戦力を求めている」ことに対応する提案) 人材育成という観点も必要ではないか。
- ・女性の意見を聞く会を企業内で持ってもらおう。
- ・男女が出会う機会を増やすため、合コンを支援。

（東区）

<自然減への対策>

- ・働く場所を増やす。
- ・(中小企業含む) 給与の安定。
- ・充実した保育施設の整備。
- ・各会社が正しい勤務体系にすべき。
- ・国・県・市の結婚、出産に対する制度の充実。

- ・男性・女性問わず育休制度の充実。
- ・延長保育をさらに拡充し、保育士を増やす。

<社会減への対策>

- ・雪に負けない公共交通の確保により、人口流出を防ぐ。
- ・新潟の和食をもっとPRする。
- ・文化の魅力を発信する。
- ・商業施設を増やす。
- ・アウトレットモールを造る。
- ・動物園を作る。
- ・魅力的な企業を誘致する。
- ・未開拓の土地にテーマパークを造る。
- ・若者が集まるような街づくりをする。
- ・新潟市の税金を減らす。

(江南区)

<人口減少問題について思うこと>

- ・男女の出会い、機会創出。
- ・晩婚化、出産年齢が遅い。
- ・地域コミ協、婚活そば打ち、お付き合いのマッチング。
- ・団地、新規建設、規制による影響。
- ・地域性を生かした農業の発展。
- ・収入に不安⇒結婚へ後ろ向き。
- ・キャリアの継続が難しい。
- ・就職先が地域にない。
- ・育児休業（十分な）福利厚生取得が難しい。

<保育環境 核家族化>

- ・核家族化のため働きながら子育ては難しい。
- ・「働かなければ」第2子以降を考えるのが難しい。
- ・保育園からの学童保育へは環境が変わってしまって働く環境も変わる。
- ・学童保育の受け入れ体制。
- ・公立を私立化、時間融通など。
- ・民間で引き受ける団体、組織がない。
- ・延長保育に対応できるように整備。
- ・児童館の設置⇒地域に限定される。

<人口減少転出への対策>

- ・学費支援大学以上の補助
- ・地域格差をなくす制度
- ・聖籠町補助が大きい ← 工業発展の背景があるのでは。
- ・大企業誘致したほうがいいのか。
- ・富山市、誘致、公共交通、成功事例。

<ワークライフバランスの推進>

- ・産後、社会復帰までの空白が不安感を増す。
- ・女性の育児休業、産後1～3年は適切か。
- ・北欧の成功例、産後→女性職場復帰⇒男性が育休をとる。

- ・今までとは目線を変えた仕組みづくりを。

<中小企業は特に難しい>

- ・企業体制を整えるのはすぐには難しい
- ・行政主導で仕組みを条例化。
- ・多少の強制も必要なのではないか。(例) たばこ ヘルメット等。

(南区)

<原因>

- ・少子化がすべてのものに影響している。
- ・男女平等の理解が少ない。
- ・女性が働きやすい環境をつくる。
- ・経営者の理解が足りない。
- ・出産後も安心して働けるように。
- ・残業が多いのではないか。
- ・親子と一緒に暮らせる世帯が望まれる。
- ・三世帯同居が少なくなっているのでは。
- ・ライフスタイルが世代で違う。
- ・子供を産めないのは経済的に余裕がないのでは。
- ・南区に産院が無い。
- ・保育施設を持った企業を増やしては。
- ・結婚しない若者が多い。
- ・結婚年齢が上がっている。

<対策>

- ・女性は出産のためにも健康な身体をつくる。
- ・食事(和食)をもっと充実させる。

(西区)

<グループ全体から出た意見>

- ・女性が働きやすい整備環境を。
- ・子供を産んでもキャリアアップできる社会を。
- ・結婚、出産だけが人生の目的なのか。(価値観の多様化)
- ・なぜ結婚ができないのか。お金? 出会い?
- ・安定した雇用を望む。非正規雇用は40%になる。

<学生の個々の意見>

- ・子供ができた時のメリットを感じ取れるようにする。
- ・県内にどんな企業があるとアピールして人口流出をくい止める。
- ・新潟大学のような「働いて」、「育てる」環境づくりを。
- ・新潟県内で様々な人々が交流する場を設ける。

(友人に高卒で就職した人がいるが出会いがないと言っていたという意見について。)

- ・所得保障。
- ・保育所、託児所以外の保育。

(西蒲区)

<意見・要望・提案>

- ・各コミ協単位の子育て支援策への支援が必要。
- ・婚活パーティーをやってもなかなか効果があがらない。
- ・若者が定住できる職場環境が整っていない。
- ・近所の支え合いが少なくなっている。
- ・未満児の保育施設が足りていない。
- ・男性も女性も結婚に対する意欲が少ない。

②人口流出

(北区)

<現状と対策>

- ・進学先・就職先が少ない。
- ・情報が不足。
- ・市内の移動手段が少ない。
- ・賃金が低い。
- ・雇用の受け入れ先少ない
- ・若い人は「都会に行きたい」という気持ちがある。
- ・企業側は即戦力を求めているが、若い人はまだ未熟。
- ・大学周辺に何も無い。
- ・女性が働くようになって結婚意識が低下しているのではないか。
- ・北区はイベントが活発。
- ・少子化の原因に、「出会うチャンス少ない」ことがあげられる。

<提案>

- ・地域の魅力作りが必要。
- ・新潟に定着すると返済を猶予・減免する奨学金や移住を促進誘導する補助金や支援など。
- ・今新潟市にある魅力をもっとPRすべき。
- ・学校づくり、芸術・音楽などの専門学校が必要。学べる分野を広げて欲しい。
- ・出産・育児の支援に力を入れて。
- ・出産の支援、子どもを職場に預けられる制度。
- ・男性の育休がとりやすいような企業の制度。
- ・(上記「現状」の「企業が即戦力を求めている」ことに対応する提案) 人材育成という観点も必要ではないか。
- ・女性の意見を聞く会を企業内で持ってもらおう。
- ・男女が出会う機会を増やすため、合コンを支援。

(中央区)

<現状認識>

- ・就職時、職業の選択肢が新潟では少ない。
- ・東京、首都圏など、あこがれがある。
- ・仕事の多様性がなく、賃金が低い。
- ・大人は、人口流出は問題と思って危機感を持っているが、若者は、必ずしもそう思っていない。
- ・航空機産業関連の仕事が増加しても、若者がその仕事に就きたいと思うわけではない。

<提案>

- ・新潟はごはんがおいしい、自然が豊か、農業が盛んなどが良い点。この条件を生かして、新潟を自給自足の最強の地にしよう。
- ・海外からの留学生の受け入れができるようにすること。留学生から農業を体験してもらい、新潟の良さを知ってもらう。
- ・働きたい、雇用の場を作ってほしい。

（秋葉区）

<新潟市の課題>

- ・アピールを自由に。アピールが足りない、していない。
- ・イベントが少ない。遊ぶ場所が少ない。
- ・他県にない魅力をいかに広げるか、伸ばすか。
- ・学生にとって魅力の街。他校のしていることが分からない。（発信できていない）
- ・交流の場がない。
- ・学生たちの情報が入ってこない。
- ・学生同士の意見交換の場を。
- ・学歴以外のアドバンテージを。学生が動きやすい体系。
- ・都市部にはない、若者（学生）と地域とのつながりを。
- ・街全体で交流の場の減少。
- ・（活動を）メディアに取り上げてもらう。

<まとめ>

- ・大学が集まって、活動をアピールする場を。
- ・若い世代（学生）をいかに集めるか。（留めるか）
- ・学校間の垣根を越えて。（大学間に壁がある）
- ・学生が街（商店街）に行く、動くことで新しいビジネスチャンスが生まれる。

<原因>

- ・各地域の知名度が少ない。
- ・地元の理解が少ない。
- ・観光地が少ない。
- ・若者の都会へのあこがれ。
- ・交通の便が悪い。
- ・企業数が少ない。
- ・就職が出来ない。
- ・下請け企業が多い。
- ・県外への大学進学。
- ・上京すると人が戻ってこない。

<良いところ>

- ・食べ物がおいしい。
- ・自然が多い。
- ・暮らしやすい。

<対策>

- ・大学間の交流。
- ・SNSを活用する。情報発信を。
- ・観光で人を呼び込む。
- ・アイドル（NGT48）を使って知名度をPR。

- ・良いところをPR。

(南区)

<原因>

- ・Uターン者が少ない。
- ・大学進学で県外に出てそのまま戻らない。
- ・南区に大学がない。
- ・職場がない。
- ・農業が嫌だ。
- ・1年間を通じての収入を確保する。
- ・嫁がない。
- ・県外で結婚すると帰ってこない。
- ・地域に福祉施設が少ないので他区・他県に行く。
- ・他区福祉施設に勤める。
- ・交通の便が悪い。

<対策>

- ・若者の活躍の場をつくる。
- ・大学を誘致する。
- ・企業を誘致し雇用の場を増やす。
- ・農業の改革、農家の企業化。
- ・果樹をブランド化し価値をつける。
- ・企業を誘致し雇用の場を増やす婚活。
- ・婚活パーティーを企画し行事には協力。
- ・公共交通の整備を進める。

③今後の医療と介護のあり方

(北区)

<現状>

- ・高齢化が進み、介護予防事業が重要だが、参加できている人が少ないのではないかと。

<提案>

- ・介護予防事業制度の中身を見直す。
- ・介護予防事業の中身を見直し、周知する。
- ・福祉予算の増額。
- ・若い人も地域に出て（高齢社会の現実に向き合うような）ことが必要。

(江南区)

<問題点>

(在宅)

- ・一人暮らし老人に対するケアについて／医療、福祉、介護の対策を。
- ・一人高齢者の（日中）行き場の確保。
- ・隣近所の付き合いをよくする。
- ・助けを求める。
- ・私だったら声をかける。
- ・在宅介護は大変厳しいように思う。

- ・ 1日1回見守り歩く。
- ・ 認知症対策について住民全員で考えていくべき。
- ・ 高齢者への支援。新潟市「いきいき教室」への入会条件の緩和。
- ・ 地域によって事情が異なる。
- ・ 一人暮らしが多い⇔独居者少なくピンとこない。

(施設)

- ・ 特養の入居がなかなか難しいと聞いております。施設の増が望まれるところです。
- ・ 高齢者が受診や往診してくれる所が明らかではない。
- ・ 特別養護老人ホーム等の整備をしっかりとしてほしい。
- ・ 介護にたずさわる若者の待遇が悪く、ここを充実しないと将来につながらないのでは。

(医療の不備)

- ・ ガン対策。先進医療の保険適用。
- ・ 家族以外に頼ることの困難さ。
- ・ 多世代居住世帯が多く、独居者のケアが少ない。

<まとめ>

- ・ 地域包括ケアシステムの地域に合った明確化が必要。
- ・ 論じた人がほとんど高齢者。
- ・ 特養に入りたい、順番待ちだという声が多い。
- ・ 特養に入ると若い者が「年寄を入れっぱなしにして」などと言われるということもある。
- ・ 予防も大事だが、「待機」老人が増えている。
- ・ 特養であれば5～6万、普通なら11万。お金があれば豊かな老後は過ごせる。前橋市あたりは進んでいる。

④中心市街地の活性化

(秋葉区)

<現状>

- ・ 駐車場、電車、バス→そもそも新潟の現状に興味がない。

<情報>

- ・ 公共Wi-Fiやネット環境の整備。
- ・ (中心市街地に) 市役所や県庁、官庁をもってくる。
- ・ 昼間人口。
- ・ 新潟の歴史人物を強調する。
- ・ アニメ情報館を大きくし、新潟出身の漫画家の情報を増やす。
- ・ イベントの情報発信の仕方。
- ・ 名物の宣伝が悪い。
- ・ その土地のお店の情報を知る手段がない。
- ・ 大学をもっと設置する。
- ・ 若者の利用率の高いTwitter、Facebookでの情報発信。

<遊び場>

- ・ 24時間営業がドンキホーテしかない。
- ・ 営業時間が短い。
- ・ 遊ぶ場所が少ない。することがない。
- ・ 公共施設が少ない。公共の場が悪い。

- ・若者の集まる場の少なさ。たまり場が少ない。街中に大きなホールを造る。
- ・映画館やイベント会場が少ない。新潟の強みをテーマパークにする。
- ・若者の流行に親身になる。

<店舗>

- ・品数が少ない。欲しい商品（物）を売っていない。
- ・店舗の種類が少ない。
- ・おしゃれな店が欲しい。

<活気>

- ・シャッター街に若者向けの店を作る。
- ・シャッター街が多い。商店街がさみしい。
- ・シャッター街の店舗を使ってお店を開く方への行政のサポート。
- ・シャッターが閉まっている店の固定資産税を倍にする。
- ・人通りが少ない、暗い、深夜になると街灯がないので暗くなる。
- ・土地の整備、有効活用。

<交通>

- ・JR, 新潟交通の努力。
- ・交通手段が不便。電車、バスの少なさ（本数、時間）
- ・電車、バスなど交通のつながが悪い。
- ・JRの多い路線を減らし少ない路線を増やす。
- ・街に出るバスの運賃が高い。
- ・土地の価格が高い。
- ・駐車場が余っている。
- ・街中ワンコインバス。
- ・駐車場を広く造る。（無料）
- ・新潟駅だけにバスを増やすのではなく、新潟駅以外のその他の駅にもバスの本数を増やす。

<解決策>

- ・無料駐車場を造る。
- ・本数の増加。路線の増加。
- ・（古町・万代）を中心に人を呼ぶ。

（西区）

<グループ全体から出た意見>

- ・学生はバス代を払って古町に行きたいとは思わない。
- ・中心部といえるほどの機能を果たしているといえるのか。
- ・バスや電車で行ける観光スポットがあるといい。
- ・ロシア，中国，韓国，モンゴルなどの領事館があるので交流に活用したい。
- ・果物が有名な白根や聖籠町など産地へバスを乗入れたらどうか。
- ・議員が思う新潟市の魅力について伺いたい。

<学生の個々の意見>

- ・既存の観光資源の発信力アップ。
- ・観光地としての魅力を高める。
- ・己が魅力あることを，それぞれ「カタチ」にすればいいのに。
- ・県外の人を連れて行ける観光スポットを市街地につくる。

- ・もっと外へ魅力を出していこう。
- ・新潟市の魅力をSNSを活用して発信するべき。
- ・古町などに人が流れるように市でイベントを開く。

(西蒲区)

<意見・要望>

- ・新潟市中心部のベッドタウンとしての住み心地の改善が必要だ。
- ・特徴ある産業の育成と雇用の場の創出が必要。
- ・西蒲区全体の一体感を醸成する取り組みが必要。
- ・商店街と観光の魅力アップを図り、同時に地域内外に発信していくことが必要。
- ・担い手不足が深刻。
- ・旧町村がお互いのまちを自分たちのまちと捉えて、区外の人たちに自慢できる雰囲気醸成する必要がある。

⑤地域産業の振興

(中央区)

- ・漫画を使っての地域活性化を考える。
- ・新潟出身の名前を大いに使う。
- ・NGT48のご当地のスタンプツアー広げて旅行社が宿泊プランを増やす。
- ・海外へのアピールにアニメを流して新潟に来てもらう。
- ・にいがたマンガ大賞をPRし力を入れる。
- ・行政とリアルなおタクの話し合いの場を持つ。
- ・コスプレパレードなど表現の場をつくるなどイベントをもっと増やしてはどうか。
- ・NGT48の収益はどこにしているのか。

(南区)

<農業についての課題>

- ・農家の後継者不足。
- ・農家の後継ぎに嫁が来ない。
- ・仕事がキツイ。
- ・農家組合の人員不足で普請が出来ない。
- ・米を生産し農協に出荷しても赤字。
- ・農地の大規模集積が難しい。
- ・販売ルートを確認出来ない。

<解決方法>

(自分達で出来る事)

- ・交流の場を設けて農業への転職者を求める。
- ・南区の食材を使った移動型レストランでイベントに参加。
- ・ブランド化を図る。

(行政への要望)

- ・IT化による流通や生産コストの削減。
- ・新規就農者支援、Uターン者支援、空家活用。
- ・道の駅の建設。

<工業についての課題>

- ・ブランド化。
- ・工業地域との連携。(C S R)
- ・航空機産業一早く実行。
- ・ブランド化された工業製品がほしい。

<解決方法>

(行政への要望)

- ・道の駅の建設。
- ・航空機産業の誘致または紹介。

<商業についての課題>

- ・商店街の賑わい。
- ・大型店が出来たため、地元商店街での買い物が少なくなった。
- ・P Rの仕方。
- ・商店街にやる気が無い。
- ・創意工夫が無い。
- ・観光ピーアールの場合となる場がない。(道の駅)

<解決方法>

(自分達で出来る事)

- ・8号線沿いに新たな商店街を作る。

(行政への要望)

- ・外国人観光客対策、W i - F i 環境の整備。
- ・地域で消費した分の優遇。(住民税割引とか)

⑦公共交通のあり方

(中央区)

<現状認識>

- ・電車利用では本数が不足である。
- ・バスが不便で車通学にしたら、今度は通勤ラッシュで道路が混雑している。
- ・市のため、市民のための公共交通の在り方は本当に議論されているのか疑問。

<B R T 導入後の問題>

- ・バス停が分かりづらくなった。
- ・運賃が高くなったのではないか。
- ・費用対効果に疑問がある。

<公共交通への改善提案>

- ・バス停を分かりやすくする。
- ・運賃体系の検討。
- ・交通難民への対応。
- ・市内電車、地下鉄なども含め全体的な公共交通の中で、なぜ、B R T - 連節バスになったのか。
- ・B R T - B u s R a p i d T r a n s i t バス高速輸送システムとっていたが、バス区間という意味にも使われ、定義が全く分からない。
- ・通学に乗換えが入ったため、20分余計にかかり、しかも遅れることがある。
- ・市民のためのバスシステムにしてほしい。

(江南区)

<問題点>

- ・バス利用者はかつての約65%の減少。
- ・運行本数は約20%削減。
- ・区バス料金の一律の不平等。
- ・将来が不安（運転が出来なくなった時）⇒免許証返納が出来ない。
- ・削減された路線には公金を投入し、維持。
- ・高齢者の通院、買い物への対応。
- ・横越小のバスが古くなってきた⇒横バスに気軽に乗れたらいいのに。
- ・横越中の子供たちにも気軽に。
- ・公共交通空白地域、地域バス、デマンド交通。
- ・端末路線への運行。（地域内路線）
- ・横バスが住宅地でバス停が分かりにくい。
- ・許認可の時間がかかりすぎ。
- ・独占企業の弊害。
- ・収支バランスどうする。
- ・多様化するニーズをどう実現。

<提案>

- ・バス運行事業者への助成金の増額。
- ・地域バスの充実。（ダイヤ等）
- ・バス路線の見直し。
- ・住民の意見を生かした運行。
- ・市営バスの立ち上げ。
- ・山手線のようなダイヤ。
- ・乗降の自由停車。
- ・目的バスと区バス、住民バスと合体。
- ・自家用車で移動するより「安く」、「便利な」公共交通。
- ・横越中は100円になった。
- ・地域バスの補助金の拡充。
- ・バス事業者への公金をストップ⇒余力を地域内交通へ。
- ・バス事業者が担うバス路線の安定化⇒公金をストップ。

（秋葉区）

<現状>

- ・電車、バス、その他の交通移動。

<課題>

（バス）

- ・乗り換えが大変。路線表示が分かりにくい。
 - ・BRT（2両連節バス）の運行により、周囲のドライバーにとって、危ない。
 - ・Suicaが使えない。
- ⇒BRTについて反対が多いのは、BRTのメリットと利用者の要求がズレているから。

（電車（JR））

- ・運行本数が少ない。
- ・ホームと電車の段差が大きい。
- ・電車の本数が少なく、BRT（バス）も定時性がないため、古町に行くのが不便にな

った。

- ・バスなど駅までのアクセスが不足。
- ・電車利用が少ない。

(その他)

- ・自転車道がない。(少ない)
- ・自家用車利用が多い。
- ・自転車道と歩道の区別が不明確。
- ・パークアンドライドがない。
- ・降雪時の移動が大変。
- ・レンタサイクルが欲しい。(乗り捨てができるような形に)
- ・体重移動で走行できる「セグウェイ」などを導入しては。

<解決策>

(バス)

- ・JRと新潟交通との連携強化。(Suicaなど活用)
- ・バス専用レーンの整備。
- ・乗り換え。
- ・各路線のわかりやすい表示。(色分けや矢印などで誘導)
- ・観光客などにもわかりやすい表示で、利用しやすい環境づくり。

(電車)

- ・バスなど駅まで行きやすくする。(結節環境)
- ・利用者増で採算が取れるように。
- ・駅のバリアフリー化の推進。
- ・利用者の時間帯に合わせた便数確保。
- ・利用者増への取り組みとして各駅に公共施設の整備を。
- ・アパート、マンションなど住環境整備。
- ・施設までのアクセスを、大きな駅よりも、安く、早いものにする→利用を促す。

(その他)

- ・長岡花火大会など催事時に、パークアンドライドを使うべき。
- ・自転車の貸し出し(レンタサイクル)の充実により、公共交通の負担減に。
- ・自転車の貸し出しで移動を容易に。そのために、自転車道と歩道の区別を。
- ・社会実験等でパークアンドライドを行ったが、利用が伸びず廃止となったが、パークアンドライド(周辺駐車場)の整備を行い、マイカーを中央に入れない。
- ・冬期間の移動が大変。降雪時対策の強化。
- ・セグウェイなど環境に配慮した移動手段の検討も。

<結論>

- ・自分の手足のような便利さをもつ交通に。
- ・車社会を前提にしても、魅力ある交通機関に。

(南区)

<公共交通がなぜ必要なのか>

- ・通学に不便。
- ・免許を返上した人はどうしたらいいのか。
- ・高齢者はどうしたらいいのか。
- ・ついでがある人に車で連れて行ってもらう。

<今後どうしたらいいのか>

(新潟交通路線バス)

- ・ 8号線1本でない方法を考える。(新幹線側道の利用)
- ・ 三条、燕からの通勤者を巻き込んでバスを維持させる。
- ・ 赤字路線を恐れずに黒字路線を作り出す。
- ・ 1路線に集約され過ぎている。
- ・ 直通で信濃川を渡ってとか、バスの行き先を色々な方向で。
- ・ 新飯田→庄瀬→黒埼・大野へ。
- ・ 路線バスのルート変更と時間の変更。

(地域バスの必要性)

- ・ 住民バス一世帯ごとに負担してもらっても何とか維持したい。
- ・ 1件100円負担している。
- ・ 市の補助率は上がったが維持するのは難しい。
- ・ 月潟住民バスは使い勝手が悪い、月潟区バスのバス停にたどり着く手段がない。
- ・ 増便してほしい。午前2便、午後2便。
- ・ 利用者の希望は充分聞いてきた。

<持続可能な方法は>

- ・ 細かいルート設定。
- ・ 交通拠点を作る。
- ・ 採算を考えていては、何も出来ない。
- ・ 地域に合った公共交通が必要。
- ・ アンバランス地域の現状に合っていない。

(西区)

<グループ全体から出た意見>

- ・ BRTがどこまで有用かよく聞いてほしい。
- ・ 広島へ行った時、路面電車が良かった。
- ・ 一般車両の渋滞に巻き込まれないことが大事。地下鉄，路面電車など。
- ・ 大学から白根へ行くとき公共交通で行こうとすると不便である。
- ・ BRTについてよく議論されていないように感じる。不便なことばかりが伝わってくる。
- ・ 公共交通が不便であると，自動車保有率、二酸化炭素排出量が下がらない。

<学生の個々の意見>

- ・ 新大前駅から大学を近くしてほしい。
- ・ ビッグスワンの方までモノレールや路面電車のような目玉になる乗り物が欲しい。
- ・ 観光目的でバスを利用する場合，地名など分かりにくいところがあるのでシステムをわかりやすくする。
- ・ BRT等の調査。
- ・ 渋滞しない公共交通。モノレール等。

(西蒲区)

<意見・要望・提案>

- ・ 公共交通のビジョンが見えない。

- ・区バスのPRが足りていない。
- ・電車、バスの便数が少ない。
- ・マイカーが大半である。
- ・バスを利用している人のニーズを把握できていないのではないか。
- ・巻駅周辺に大型駐車場を整備してはどうか。
- ・駅やインターチェンジ、白根などの機関軸へのアクセスを向上させてはどうか。

その他

(東区)

課題：新潟市の防災

<想定される災害>

- ・地震
- ・地震による津波
- ・大雨による信濃川、阿賀野川の氾濫
- ・農作物への影響
- ・放火などによる火災

<それに向けての現状課題>

- ・高齢者と若者のコミュニケーションが取れていない。
- ・地域住民同士の連携が薄くなってきている。
- ・そもそも災害への備えや防災という観念自体が薄い。

<解決策>

- ・日ごろから積極的な訓練の実施とそれへの参加。
- ・ハザードマップの作成と広い範囲への公表。
- ・若者や大学生が地域へ積極的に参加できるような環境整備、例えば防災カフェなどを設置。
- ・安否確認などでSNSを積極的に活用し、電話が繋がらないような事態を解決する。

(東区)

課題：にいがた未来ビジョン

<新潟の理想とは>

- ・コンパクトシティ：地域ブランド、新潟としての魅力がわかり、愛することができ、地域をブランド化してアピールできるまち。
- ・治安：安心して暮らせる地域。地域コミュニティが活性化している。
- ・福祉：お年寄りにやさしい。子育てがしやすい環境。高齢者とUターンIターンなどで戻ってくる若者がうまく共存できるまち。
- ・施設：病院など福祉施設が充実しているまち。各駅の周辺に商業施設、福祉施設などが集まっている地域。
- ・交通：公共交通の拡充。公共交通がコンパクトで循環がうまくいっているまち。すべての世代の人たちが、快適に住めるような地域環境の形成。
- ・自然：自然が豊かでおいしいものがあるまち。

(東区)

課題：街づくり

<問題点>

- ・交通面の悪さ。
- ・古町が駅から遠い。
- ・駅から中心市街地が遠い。
- ・情報が少ない。
- ・物価が高い。
- ・郊外の大型店で買い物が終わる。
- ・買い物する場所がばらけている。
- ・わざわざ県外から来たいという観光スポットがない。
- ・新潟駅の老朽化。
- ・駅南に比べ新潟駅前が地味。
- ・公共交通に地域格差がありすぎる。
- ・バス料金が安い。

<改善点>

- ・公共交通の改善。
- ・盛り上がりのあるイベントを多数企画する。
- ・万代・古町に観覧車を設置すべき。
- ・セールしまくる。目玉商品をつくる。
- ・スーパーよりも安く。
- ・公共交通機関をもっと使いたくなるような工夫が必要。
- ・新潟の特色を生かしたイベントを企画する。
- ・乗り換え時間を快適に過ごせる工夫が欲しい。
- ・バスが今どこを走っているかわかるモニターを造る。
- ・公共交通において一定料金で乗れる範囲を拡充する。

(南区)

課題：長寿社会を健康で生き生き過ごす

<スマートウエルネス（健康づくりと町づくり）>

- ・保健会が健康づくりの取り組み。（食推の活動）
- ・健康づくり活動をコミ協がバックアップ。

<健康寿命延伸に向けた支援>

- ・元気な高齢者がより健康づくりをする。（老人クラブの加入少ない）
- ・秋葉区のロコモ体操の取り組みを南区にも取り入れよう。
- ・住民任せの部分が多いので市のかじ取りが必要。
- ・南区中心部での取り組みを地域の隅々まで進めた方がよい。

<特別養護老人ホーム等の整備>

- ・要支援への取り組み。
- ・介護保険料の値上がり。
- ・特養をつくるのも費用負担、足りているのでは。
- ・医療が進み長生きになった。
- ・在宅医療が急務。
- ・往診してもらえるか不安。
- ・在宅医療が急務。
- ・介護サービスが産業化してきている。
- ・在宅で看る人が少なくなった。

- ・在宅介護続くか不安。
- ・夜間の救急医療体制が整っていない。

(南区)

課題：高齢化対策

<対策>

- ・老人も体を鍛えて、子供を見てあげられるように。
- ・各自治体ぐるみで見守る。(老人も子供も)
- ・プールに行ける(くるりんバス)を増やす。